

素案からの主な修正点

修正ページ 項目	視点	基本構想での記載 (赤字は追加・修正部分)	基本構想（素案）での記載
P.4 「はじめに」 ・新図書館整備基本構想策定までの経緯	①既存館の存続	新図書館は、約30年ぶりに整備される本市19館目の図書館であり、創造・発信の機会の提供や創造・発信の機会の提供や、利用者同士の交流を促すため、図書も含めた多様なメディアに対応するとともに、市立図書館ネットワークを支える物流センター機能を有する、「教育都市 横浜」の知の拠点となることを目指しています。	新図書館は、創造・発信の機会の提供や、利用者同士の交流を促すため、図書も含めた多様なメディアに対応するとともに、市立図書館ネットワークを支える物流センター機能を有する、「教育都市 横浜」の知の拠点となることを目指しています。
P.4 「はじめに」 ・基本構想について	⑩社会経済の動向・財政的な視点	人口減少・少子高齢化やデジタル化の進展等社会経済の動向、財政ビジョン等本市全体の方針と整合を取りながら、新図書館整備を進めていきます。	記載なし
P.22 第3章-1「5つの機能」	⑥横浜らしさ	また、運営にあたっては、常に機能・取組の更新を続け、時代のニーズを取り入れ、変化し続けることで、他都市の図書館にはない、横浜ならではの機能・取組を作り上げていきます。	記載なし
P.22 第3章-2「各機能の取組方針」機能①情報の充実とアクセス性向上 ・情報の収集・提供“取組の方向性”	④多文化	幅広さ ・あらゆる人の興味・関心にこたえられるよう、また、体験・交流・創造・発信などの図書館内で行われる活動を支えられるよう、多様な言語に対応するとともに、幅広い分野、多様な形態の資料・情報を収集。	幅広さ ・あらゆる人の興味・関心にこたえられるよう、また、体験・交流・創造・発信などの図書館内で行われる活動を支えられるよう、幅広い分野、多様な形態の資料・情報を収集。
P.25 第3章-2「各機能の取組方針」機能①情報の充実とアクセス性向上 ・アクセス性の向上	⑧バリアフリー・ユニバーサルデザイン等	だれでも ・言語や国籍の違い、性別や年齢、障害の有無等に関わらず、すべて人が安心して、情報に触れ、学べる環境を提供。	だれでも ・言語や国籍の違いに関わらず、すべての人が知り、学べるよう、あらゆる人の利用を想定

素案からの主な修正点

修正ページ 項目	視点	基本構想での記載 (赤字は追加・修正部分)	基本構想（素案）での記載
P.25 第3章-2「各機能の取組方針」機能①情報の充実とアクセス性向上 ・アクセス性の向上	②学校図書館との連携	どこでも ・図書館以外の場所からでも図書などの知に触れられるよう、 学校図書館をはじめとした、図書を取り扱う施設・拠点との協力・連携を進めるとともに 、電子書籍のコンテンツやデジタルアーカイブ等を拡充	どこでも ・図書館以外の場所からでも図書などの知に触れられるよう、電子書籍のコンテンツやデジタルアーカイブ等を拡充
P.28 第3章-2「各機能の取組方針」機能④知的交流の創出 ・人と人との接点の創出 [取組例]	④多文化	・「 世代や文化・国籍を超え、多様な利用者が出会い交流する機会の提供 」	記載なし
P.32 第4章1「空間計画の方針」必要なスペース	⑨駐車場・駐輪場	共用・事務管理スペース ・事務室・建物管理関連諸室 ・階段、廊下、トイレ等 ・機械室・サーバー室等 ・ 駐車場・駐輪場	共用・事務管理スペース ・事務室・建物管理関連諸室 ・階段、廊下、トイレ等 ・機械室・サーバー室等
P.33 第4章2「空間計画の方針」規模の考え方・スペースの構成	⑨駐車場・駐輪場	共用・事務管理スペース (例) 廊下・階段・トイレ・ 駐車場・駐輪場 等	共用・事務管理スペース (例) 廊下・階段・トイレ 等
P.34 第4章3「空間デザインの考え方」	⑧バリアフリー・ユニバーサルデザイン要素	内部空間のデザイン 年齢や文化、障害の有無等に関わらず 、誰もが円滑に建物内外を移動でき、 安心・快適に利用できる ユニバーサルデザインに配慮した空間づくり	内部空間のデザイン 誰もが円滑に建物内外を移動でき、安心・快適に施設や機能を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した空間づくり

素案からの主な修正点

修正ページ 項目	視点	基本構想での記載 (赤字は追加・修正部分)	基本構想（素案）での記載
P.34 第4章3「空間デザインの 考え方」	⑦コレクションの保 管	内部空間のデザイン コレクションの特性に応じた適切な保管環境の整備	内部空間のデザイン 記載なし
P.34 第4章3「空間デザインの 考え方」	⑩防災	内部空間のデザイン 開放的なスペースや災害時への備えなど、地域に開か れ、まちと共に歩いていく空間づくり	内部空間のデザイン 記載なし
P.34 第4章3「空間デザインの 考え方」	⑥横浜らしさ	外部空間のデザイン 横浜らしさを感じ、市民が誇りを感じられるようなシン ボル性や親しみのあるデザイン	内部空間のデザイン 記載なし
P.36 第5章1「整備予定地」	⑨駐車場・駐輪場 ⑪まちづくり ⑫複合化・ 他施設の併設 ⑬駅からのアクセス	新図書館は、公共交通機関での来館に加え、徒歩・自 転車・自家用車など、多様な手段での来場を想定し、 周辺まちづくりとも連携しながらアクセス環境を整備 します	記載なし
P.41 第5章3「まちづくりの視 点」	⑪まちづくり ⑫複合化・ 他施設の併設 ⑬駅からのアクセス	新規ページ「まちづくりの視点」(P.41) 追加	—
P.43 第6章1「整備手法の考え 方」	⑮整備手法・維持管 理・管理運営	整備費や管理運営費等の財政負担軽減や財政支出の平 準化といった経済的な視点、時代やニーズ等の変化に 対応した魅力向上・維持のための民間活用の視点、整 備までの期間など、多角的に比較・検討を行っていき ます。	財政負担軽減や財政支出の平準化といった経済的な視 点、整備までの期間など、多角的に比較・検討を行って いきます。

素案からの主な修正点

修正ページ 項目	視点	基本構想での記載 (赤字は追加・修正部分)	基本構想（素案）での記載
P.44 第6章1「管理運営の考え方」	⑭施設の魅力維持	また、新図書館が、「知を拡げ、人をつなぎ、新たな価値を生み出すまちの拠点」であり続けるためには、将来にわたり、計画的・効果的に機能・設備等を保全・更新するとともに、時代・社会のニーズを取り込み、機能やサービスを検証・更新し続けることが重要です。	また、新図書館が、「知を拡げ、人をつなぎ、新たな価値を生み出すまちの拠点」であり続けるためには、将来にわたり、時代・社会のニーズを取り込み、機能やサービスを検証・更新し続けることが重要です。
P.44 第6章1「管理運営の考え方」	③市民参画	また、そのためには、行政や民間、市民、NPO等、多様な主体がそれぞれの知見を活かしながら管理・運営に関わることが必要です。	記載なし
P.54、55 資料編「市民意見募集の結果」	検討経過の記載	新規ページ「市民意見募集の結果」(P.54、55)追加	—
P.56 資料編「新図書館整備に関する座談会の結果」	検討経過の記載	新規ページ「新図書館整備に関する座談会の結果」(P.56)追加	—
P.57 資料編「活動団体等ヒアリングの結果」	検討経過の記載	新規ページ「新図書館整備に関する座談会の結果」(P.57)追加	—
P.58、59 第5章1「整備予定地」	⑯社会経済の動向・財政的な視点	新規ページ「本市の状況①～人口推移～」(P.58)、新規ページ「本市の状況②～横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン(令和4年6月議決)～」(P.59)追加	—